

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報

週報 令和6年—第29週 (R6. 7. 15~R6. 7. 21)

病名	定点報告数 (○: 警報レベル, □: 注意報レベル)						1定点当たり	
	24週	25週	26週	27週	28週	29週	福岡県	全国
	6/10~	6/17~	6/24~	7/1~	7/8~	7/15~	29週 7/15~	
インフルエンザ	36	38	61	86	79	94	0.47	0.37
新型コロナウイルス感染症	867	936	1330	2233	2955	3849	19.44	13.62
RSウイルス感染症	283	357	417	549	663	588	4.90	1.68
咽頭結核熱	99	93	73	50	62	45	0.38	0.50
A群溶レン菌咽頭炎	○916	○961	○985	○835	○815	○674	○5.62	2.39
感染性胃腸炎	686	692	576	578	531	413	3.44	2.89
水痘	36	29	23	43	21	28	0.23	0.17
手足口病	○767	○1040	○1123	○1626	○1653	○1303	○10.86	11.72
伝染性紅斑	6	3	25	2	0	27	0.23	0.12
突発性発しん	56	46	62	29	47	38	0.32	0.26
ヘルパンギーナ	72	160	208	357	340	321	2.68	1.95
流行性耳下腺炎	13	5	14	7	8	2	0.02	0.04
川崎病 (MCLS)	1	10	4	11	1	5	0.03	
マイコプラズマ肺炎	80	70	69	133	49	133	0.67	
細菌性髄膜炎	2	0	0	0	0	0	0.00	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	0.00	
急性脳炎	0	0	1	1	0	0	0.00	
急性出血性結核炎	1	0	0	1	0	0	0.00	0.02
流行性角結核炎	2	6	6	3	11	3	0.12	0.46

月報 令和6年—6月 (R6.6.1~R6.6.30)

病名	定点報告数	前月比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
性器クラミジア感染症	122	85%	福岡64、北九州30	3.30	2.57
性器ヘルペス	45	84%	福岡24、筑後16	1.22	0.91
尖圭コンジローマ	14	46%	福岡10、北九州2	0.38	0.56
淋菌感染症	34	60%	福岡19、北九州7	0.92	0.73

■ 総評

▽ 2024年第29週: R6.7.15-7.21は休日を1日含みます。新型コロナウイルス感染症が10週連続増加で多発し今後の動向に注意が必要。インフルエンザは増加だが定点当たり0.47と少なく、キットではA型18人、B型0人。RSウイルス感染症は多発が続き今後の流行に注意。A群溶レン菌咽頭炎も多発が続き、警報レベルの報告数が続く。手足口病は第24週から警報レベル、ヘルパンギーナも増加傾向で今後注意。夏期休暇が始まり、国内・海外の移動での感染症流行・拡大にご注意ください。検査定点医療機関には手足口病・ヘルパンギーナの検体提出をお願いします。